

「ひとひらのあいコンサート」10周年に寄せて

指揮者 片野秀俊

今年も合唱コンクールの季節が終って、一年の締めくくりの12月がやってきました。日本の合唱界では近年特にコンクールが大流行りのようです。合唱団に実力をつけたり、ステージ度胸をつけたり、よその素晴らしい演奏を聞いて勉強したり、それはそれでとても有意義な機会ではあります。私も、その心地好い緊張感が好きですから、決してコンクールを否定するものではありません。しかし、ここの処どうも技術ばかりが先行してしまって、一番肝心なメンタルな繋がりに欠ける団が多くなったように感じるのです。本来、熱い血の通った人と人との和から生まれるはずの音楽が、妙に機械的になって、上手いけれど決して感動を与えない演奏が多くはないでしょうか。理屈や理論ばかりを振り回したり、何の面白みも感じないで声や音程や様式にばかり先走る人もよく見かけます。合唱本来の持つ、歌い合うということ、即ち、心を打ち、訴えるということを、今一度、原点に立ちかえって考え直さない限り、日本の合唱界の真の意味での発展は生れてこないと思うのですが……。

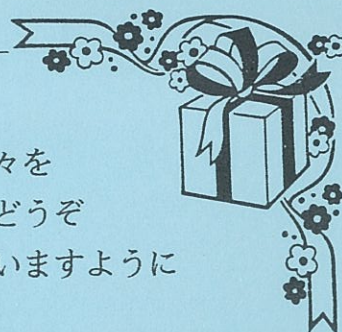
「ひとひらのあいコンサート」を始めて、10年目を迎えました。地域に密着した合唱団として、少しでも何かお役に立ちたいという想いで名づけたこのコンサートは、団員一同が微力ながら全力を注いで、10回を数えることになりました。この間に、私たちこそいかに多くの人々の力によって生かされているかを、メンバー一同、感じることができました。毎回の企画は、手前味噌ながら、定期演奏会にも相当するような、内容豊かなものだったと思っています。皆様から頂いた会場での募金は、その全額に団員の志を加え、川崎市社会福祉協議会に寄託してきました。この催しに賛同し、一緒にステージに立って下さった方々にもお礼申し上げます。ほんのひとひらの小さな想いが人の心にやさしさと暖かさを届けられたとしたら、これ以上の喜びはありません。私は、ここにこそ、合唱団の持つもうひとつの大きな意義があるのだと信じています。団員数から見ても、力量から見ても、まだまだ小さな私たちですが、これからも決して慢心せず精一杯の心で歌い続けてまいります。

団長の根村さん、また、運営スタッフやメンバー全員の、並々ならぬひたむきな努力と、毎年この演奏会を楽しみに聴きに來て下さる会場の一人一人の皆様に、心よりの感謝を捧げつつ。

このコンサートには、
心身に障害をもった方々を
ご招待しております。どうぞ
ご理解、ご協力くださいますように
お願い申し上げます。

なお、会場での募金は、その全額に団員の志を加え、毎年、川崎市社会福祉協議会に寄託してまいりました。

昨年の募金額は56,740円、これまでのトータルは、880,010円となっておりますことをご報告いたします。



《出演者》

ソプラノ

花島 佳子
日下 久江
平原 みち子
富士 美由起
藤原 千恵子
宮下 とも子
森田 和子
吉田 智子
渡部 信子

アルト

熊谷 淳子
菅沼 安佐代
高橋 尚子
永野 瑠美子
成瀬 文子
根村 道子
吉田 ヒサ子

テノール

菊井 勝也
高松 昭一
成瀬 宗宏

西田 誠
藤森 信也
望月 寛之
渡辺 和之

バス

久米 啓允
高野 晴行
柴田 一夫
丸山 力成
山吉 一成
渡邊 保

団員募集中

特に男声歓迎!

指導・指揮 片野秀俊先生

練習日=毎火曜日 pm. 7~9時

会場=麻生文化センター or 多摩市民館

登戸混声合唱団連絡先 TEL 044(955)7977 森田

03(3488)0889 根村

後援/川崎市・川崎市教育委員会・川崎市社会福祉協議会
朝日新聞・東京新聞・毎日新聞(各川崎支局)・神奈川新聞社・読売新聞社

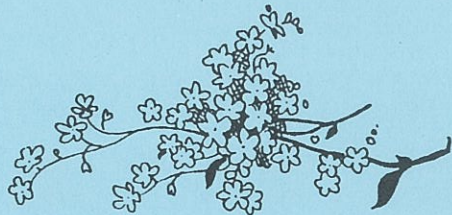
登戸混声合唱団

第10回 チャリティ

ひとひらの あい コンサート



1997年12月14日(日) pm 2:00 多摩市民館大ホール



ありがとうございました

「ひとひらのあいコンサート」を続けて10年、思えば、ほんとうに多くの方々にお力添えをいただきました。

「またやって!」と握手してくれた障害をもつお子さん。このコンサートに賛同され、広くお薦めくださった、町会連合会長の故・手塚三義様。

そして多くの町会長様や地域の方々。毎回、メッセージをお寄せくださり、団員の気持ちを鼓舞してくださった高橋市長様。

いつもアドバイスを励ましの言葉をくださる川崎市文化局の昼間豊様。

第1回以来、職場が変わってもお世話をいただいている社会福祉協議会の新谷勇郎様、佐保千恵子様。

後援いただき、記事にして下さった各新聞社の皆様。「毎年、たのしみにしている」と、来てくださる皆様。

地元で、最初から応援し続けてくださる宿河原第一長生会の松井敬吾様、「よこやま」の横山智恵様。

チャリティの募金にご協力くださった皆様。

一緒に歌い、またお手伝いくださった多くの歌仲間。

縁の下の力持ちとして、裏方や雑用に奉仕して下さる“のぼこんPTA”の方々(メンバーの家族をこう呼んでいます)。

そして、このコンサートの名付け親であり、音楽的なご指導だけでなく、いつも大きな心で私どもを支えてくださる片野秀俊先生。

多くの素晴らしい方々に支えられた「ひとひらのあいコンサート」の10年は、私たち団員一人ひとりの人生にとって、最も充実した、意義深いものになりました。今は、これしかいべき言葉がありません。ただただ、心から…ありがとうございました。

1997. 12. 14

登戸混声合唱団
団長 根村道子

プログラム

指揮とお話 片野秀俊
ピアノ 矢野令子

谷川雁・詩 新実徳英・曲

「白いうた 青いうた」より

壁きえた
このみちゆけば
南海 譜
ぶどうかたばみ
青い花 朗読・久須美吉孝



ア・カペラの響き

Hodie Christus グレゴリオ聖歌より
Ave Verum Corpus グレゴリオ聖歌より
O Quam Gloriosum Est ヴィクトリア作曲
O vos Omnes ヴィクトリア作曲

ハンドベル演奏

恵泉女学園大学ハンドベルクワイア
指揮・関本恵美子

グリーンスリーブス
ラルゴ
きよしこの夜
ジングルベル



みんなで歌いましょう

川崎市民の歌 冬の夜
好きです かわさき 愛の街



小学唱歌

肥後義子 作詞
石本美由起 補作
山本直純 作曲

楽しいクリスマスソング

- ✓ 主よ 人の望みよ 喜びよ バッハ 作曲
- もみの木 クリスマスキャロル
- ✓ サンタが町にやってくる クーツ 作曲
- ✓ クリスマスイヴ 山下達郎 作曲
- ✓ 赤鼻のトナカイ マークス 作曲
- ✓ ジングルベル ビエールポント 作曲

指揮 片野秀俊

東京声専音楽学校卒業。プロ合唱団・日本合唱協会(日唱)に入団し、長年にわたり日唱の音楽監督であった故・山田一雄氏の薫陶を受ける。85年、日唱・正指揮者に就任して指揮界にデビュー、全国で演奏会を行うほか、TV、ラジオ出演、CDのレコーディングを行っており、NHKラジオ音楽番組の解説担当、音楽雑誌への執筆活動をしている。

NHK音楽コンクール、全日本合唱コンクールの審査員、各地合唱祭の講評活動の他、アマチュア合唱団の育成にも力を注ぎ、十数団体を指導、登戸混声合唱団は結成時から常任指揮者。

日本演奏連盟会員、東京都合唱連盟個人会員、日本合唱指揮者協会会員、日本合唱協会主宰、正指揮者。

指揮法をヘルムート・リリング、山田一雄、荒谷俊治各氏に。声楽を下八川圭祐、天野秋雄、芳野靖夫、各氏に師事。福島県いわき市出身。

ピアノ 矢野令子

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。小野田多江子、細川哲朗両氏に師事。新日本交響楽団、東京ソリストとピアノ協奏曲を協演。青少年コンサートに出演。ジョイント・リサイタル、デュオ・リサイタル、サロン・コンサート等出演。声楽、器楽、合唱団等の伴奏ピアニストとしてフリーで活躍。

ハンドベル 恵泉女学園大学ハンドベルクワイア

1988年、大学創立と同時に結成、今年で9年目を迎える。現在、1~4年まで20名のメンバーで活動している。学園祭、クリスマス礼拝などの学校行事のほか、教会、学校、地域社会でのイベント等での演奏を行っている。

現在は、府中の森芸術劇場にて行なうクリスマスコンサート(12/19)を大きな目標に練習を重ねている。

*1990年、第3回「ひとひらのあいコンサート」に出演

登戸混声合唱団チャリティ
「ひとひらのあいコンサート」
10回の歩み



-
- 第1回 1988.12.18 麻生文化センター大会議室
-
- 第2回 1989.12.17 麻生文化センター大ホール
ゲスト ハープ独奏 覚張京子
-
- 第3回 1990.12.16 多摩市民館大ホール
ゲスト ハンドベル演奏
恵泉女学園大学ハンドベルクワイア
-
- 第4回 1991.12.22 麻生文化センター大ホール
ゲスト フルート独奏 佃 義弘
-
- 第5回 1992.12.20 多摩市民館大ホール
ゲスト マリンバ独奏 斉藤美絵
-
- 第6回 1993.12.19 麻生文化センター大ホール
ゲスト 男声四重唱 日唱クアルテット
望月寛之・穴戸 純・根岸一郎・片野秀俊
-
- 第7回 1994.12.24 エポックなかはら大ホール
川崎市制70周年記念行事
ゲスト ヴァイオリン独奏 酒井敏彦
-
- 第8回 1995.12.16 エポックなかはら大ホール
ゲスト 楊琴独奏 盖 麗萍
-
- 第9回 1996.12.23 狛江エコルマホール
ゲスト フルート二重奏 野田裕子・湊 禎子
-
- 第10回 1997.12.14 多摩市民館大ホール
ゲスト ハンドベル演奏
恵泉女学園大学ハンドベルクワイア
-

第10回・登戸混声合唱団チャリティ
「ひとひらのあいコンサート」に…



お祝いのことば

川崎市長 高橋 清

第10回登戸混声合唱団チャリティ「ひとひらのあいコンサート」の開催を心からお喜び申し上げます。

毎年、暮れを彩るコンサートとして、心身に障害を持つ方々や施設で暮らしているお年寄り、老人会、ボランティアの方々等を招待され、音楽とのふれあいを通じ、社会福祉の向上に貢献されていますことに、心から感謝と敬意を表します。これも、指揮の片野秀俊氏、根村道子団長をはじめ、団員皆様の心温まるご尽力の賜と思っております。

音楽は、人生の折々に、私たちの心を満たし、潤いや安らぎを与えてくれます。貴団の清純で美しいハーモニーとの出会いの中で、共生にむけた「ひとひらのあい」への願いが、市内の隅々に広まることを期待いたしております。

記念すべき10周年の節目を迎え、皆様方の活動が、今後とも、市民の方々に愛され、親しまれる合唱団として大きく発展されますことを心から祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。



「ひとひらのあいコンサート」

第10回の開催を祝して

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会
会長 壁 義 彰

年末恒例となりました「ひとひらのあいコンサート」
10回目の開催を、心からお祝い申し上げます。

長年にわたり、登戸混声合唱団の皆さまの心暖かな素
晴らしい歌声が、心身に障害をもつ方やお年寄りをはじ
め、聴く人すべてを大きな愛で包み込み、生きる勇気と
感動を与えておられることに、改めて敬意と感謝の意を
表す次第でございます。

この歌声が、川崎市民一人ひとりに幸せを乗せて届く
よう切に祈っております。

また、このコンサートでの募金と純益を毎年川崎市社
会福祉協議会にご寄付いただき、厚くお礼申し上げます。

ご浄財により、地域で誰もが安心して、幸せに暮らせ
る福祉のまちづくりをすすめてまいりたいと存じます。

最後に合唱団の皆さまの今後一層のご活躍をお祈りし、
お祝いの言葉といたします。

お祝いのことば

多摩区長 加藤 邦彦

第10回登戸混声合唱団チャリティ「ひとひらのあい
コンサート」の開催おめでとうございます。

貴合唱団によるチャリティコンサート開催から10年
間、施設で生活されている方、障害をもつ方、外国人留
学生の方々に、明るく楽しげな歌声を与えていただいた
ことに深く感謝しております。

音楽は、人の気持ちを高めたり安らぎを与えたりしま



す。すばらしい歌声をもって、聴衆の方々を勇気づけたり、心はずませたりしてこられた、皆様方のご努力と心温まる思いに敬意を表します。

皆様方の美しいハーモニーを通した福祉活動が、市民一人ひとりに広がり、心豊かな社会として形成されることを期待しております。

最後になりますが、今後のコンサートのご発展と、さらなるご活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。

お祝いのことば

麻生区長 本宮 富賢

第10回登戸混声合唱団チャリティ「ひとひらのあい
コンサート」の開催を、心からお祝い申し上げます。

登戸混声合唱団が、地域の名を持つ合唱団として、長年にわたり幅広い活躍をされてこられましたことを大変嬉しく思うとともに、毎年、このコンサートに、お年寄りやハンディをお持ちの方々をご招待されておられますことに、深く感謝と敬意を表します。

合唱団の皆さんの爽やかで優しい唄声は、コンサートにご来場の方々のあたたかな心に響き、これからも市民の皆様に愛されるコンサートとして待ち望まれることでしょう。第10回を迎えられた「ひとひらのあい」は大きな愛となり、うるおいと安らぎに満ちた福祉社会を創り出す架け橋として、なお一層地域に貢献されますことを期待しております。

最後に、本日のコンサートの盛会と、合唱団の皆様ますますのご活躍をお祈りしてお祝いのことばといたします。